

# 血液透析導入クリニカルパスの作成 外来・病棟との連携を試みて

人工透析室	海野有美子	清水 倫子	前田 明子
内科外来	小林 友美	望月見奈子	
6-3病棟	渡辺 朋子	大石としみ	
7-3病棟	浅場 香		

## I. はじめに

慢性腎不全から血液透析導入となる場合、一週間から一ヶ月の入院透析を行い、その間に人工透析室・病棟で指導および身体管理を行う。しかしこれまで内科外来・人工透析室・病棟において連携が図られておらず、患者への指導が重複あるいは不足しているのではないかと感じつつも、問題は明確化されていなかった。今回、内科外来・人工透析室・病棟が連携し取り組んだ、血液透析導入クリニカルパスの作成について報告する。

## II. 目的

外来・病棟が連携を深め、透析導入患者の入院中の経過を把握することで、安心して患者が透析治療を受けることができるよう、よりよい指導を目指す。

## III. 方法

平成17年6月から月に一度、内科外来・人工透析室・6-3病棟・7-3病棟スタッフが定期的に

集まり情報交換をし、クリティカルパスを作成・修正する。

## IV. 結果

血液透析導入患者のクリティカルパスを作成(図1, 2)。

## V. まとめ

血液透析導入患者のクリティカルパス作成をきっかけに、初めて計画的な外来と病棟との交流を試みた。各部門との意見交換から、それぞれの視点で独自に指導を行っていたことを知り、継続的に関わり、統一性のある指導を反復して行う必要性を感じた。そしてクリティカルパス作成の過程では、治療・処置・指導の内容や流れについて、スタッフ間での意思確認と業務分担、協働の整理ができた。また、患者用パスを透析導入前からシステムに組み込み使用することで、具体的に透析治療のイメージ化が図れ、患者の不安軽減につながると考えられる。

入院治療計画書 (スタッフ用)

血液透析導入のクリティカルパス

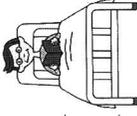
	病棟 ( ) 患者氏名 ( ) ID ( )		様 ( ) 主治医 ( ) 担当医 ( )		受け持ち看護師 ( )	
	1 回目		2 回目		3 回目	
	病棟 ( ) HD室 ( )		病棟 ( ) HD室 ( )		病棟 ( ) HD室 ( )	
<p>N.S.サイン</p> <p>病棟 ( ) 透析日 月 火 水 木 金 土 (AM・PM)</p> <p>透析 (Dr・Ns)</p> <p>HD時間 ( ) h</p> <p>QB ( ) ml/min</p> <p>DW ( ) kg・除水 ( ) l</p> <p>ダイアライザー ( )</p> <p>抗凝剤 (ヘパリン・ローヘパ・フサン) ( )</p> <p>エポジン・エスボネ ( ) 単位</p> <p>回/週</p> <p>右 左</p>	<p>病棟 ( ) HD室 ( )</p> <p>透析 (Dr・Ns)</p> <p>HD時間 ( ) h</p> <p>DW ( ) kg</p>	<p>病棟 ( ) HD室 ( )</p> <p>透析 (Dr・Ns)</p> <p>HD時間 ( ) h</p> <p>DW ( ) kg</p>	<p>病棟 ( ) HD室 ( )</p> <p>透析 (Dr・Ns)</p> <p>HD時間 ( ) h</p> <p>DW ( ) kg</p>	<p>病棟 ( ) HD室 ( )</p> <p>透析 (Dr・Ns)</p> <p>HD時間 ( ) h</p> <p>DW ( ) kg</p>	<p>5 回目～退院前</p> <p>病棟 ( ) HD室 ( )</p> <p>透析 (Dr・Ns)</p> <p>HD時間 ( ) h</p> <p>DW ( ) kg</p>	
治療	<p>30分毎血圧測定</p> <p>止血 (Ns・自己)</p> <p>止血テープの換替 (カテーテル・ヒートテープ・その他)</p> <p>HD後病棟でV/Sチェック</p>					
処置	<p>血圧測定 ( ) h毎</p> <p>止血 (Ns・自己)</p> <p>止血テープ ( )</p> <p>翌朝止血テープ除去・手洗い</p> <p>HD後病棟でV/Sチェック</p>					
検査	<p>検血 (有・無) 前・後</p> <p>X-P (有・無)</p>					
安静	<p>HD前・ベッドの準備 (A.3313.3 枚・74721・予比のBC37・7/121)</p> <p>HD中テレビ鑑賞</p> <p>透析後、軽作業なら可</p>					
食事	<p>HD食 ( ) Kcal 蛋白 ( ) g カリウム ( ) mEq/dl</p> <p>塩分 ( ) g 水分 ( ) ml/日</p> <p>透析後食事</p>					
清潔	<p>透析後の入浴禁止、非透析日は入浴可</p>					
アウトカム	<p>#1. 透析導入に伴う合併症の潜在的状態 (不均衡症候群)</p> <p>#2. &lt;自己管理&gt;の不足や&lt;繰り返しの穿孔&gt;に関連したアクセスのハイスクリュー状態&lt;検査・消毒&gt;</p> <p>#3. 透析に際する知識不足に関連した&lt;非効果的治療計画&gt;のリスク状態</p>					
症状	<p>不均衡症候群 (有・無)</p> <p>穿孔 (有・無)</p> <p>テープかぶれ (有・無)</p>					
指導・説明	<p>シャント管理について</p> <p>穿孔による症状について</p> <p>止血のしかたについて</p> <p>必要物品について</p> <p>パンフレットを渡す</p>					
バリアンス	<p>問題あり</p> <p>問題なし</p> <p>問題あり</p> <p>問題なし</p> <p>問題あり</p> <p>問題なし</p> <p>問題あり</p> <p>問題なし</p> <p>問題あり</p> <p>問題なし</p>					
	<p>栄養指導 ( / ) ( / ) ( / ) Kcal</p> <p>蛋白 ( ) g カリウム ( ) mEq/dl</p> <p>水分 ( ) ml 塩分 ( ) g</p>					
	<p>不均衡症候群 (有・無)</p> <p>テープかぶれ (有・無)</p> <p>止血のしかた</p> <p>「透析を受けられる患者さんへ」にそって進める</p> <p>病棟 HD</p> <p>腎不全とは ( / ) ( / ) ( / ) ( / ) ( / ) ( / )</p> <p>血液透析とは ( / ) ( / ) ( / ) ( / ) ( / ) ( / )</p> <p>透析中の合併症 ( / ) ( / ) ( / ) ( / ) ( / ) ( / )</p> <p>水分管理 ( / ) ( / ) ( / ) ( / ) ( / ) ( / )</p> <p>カリウムの管理 ( / ) ( / ) ( / ) ( / ) ( / ) ( / )</p> <p>* 患者の状態、受け入れ状況に合わせて指導をすすめる</p>					
	<p>自での血圧測定のみかたについて (ファイルを読む)</p> <p>HD手帳について</p> <p>検査・消毒薬について</p> <p>巾着・更衣室・ベントについて</p> <p>各病棟の手続き</p>					

静岡赤十字病院

図1 血液透析導入クリティカルパス (スタッフ用)

入院治療計画書 (患者用) 承認登録番号 ( ) 主治医 ( ) 担当医 ( )

血液透析を受けられる患者さんへ

患者氏名 ( ) ID ( )	受け持ち看護師 ( )				
	1回目 ( / ) ( / ) ( )	2回目 ( / ) ( / ) ( )	3回目 ( / ) ( / ) ( )	4回目 ( / ) ( / ) ( )	5回目～退院前 ( / ) ( / ) ( / ) ( / ) ( / )
日付・曜日					
治療 処置	・透析予定日は 月・火・水・木・金・土 (AM・PM) です。 ・シャントを使って ( ) 回/週、( ) 時間の透析を行います。 ・透析中は30分毎に血圧を測ります。 ・透析が終了し、針を抜いた後看護師が止血します。				
検査	 ・指示により採血をします。 ・指示により胸のレントゲンをとります。				
薬	 ・貧血が強い場合、注射がはじまります。				
安静・活動リハビリ	・透析中はベッド上ですごします。(テレビ鑑賞もできます・坐ったり横向きになることもできます) ・透析後、透析のない日の制限はありません。				
食事	・透析食となります。 ・透析後の食事もなります。				
清潔	 ・透析前にシャント側の腕をきれいに洗ってください。 ・入浴は透析前や透析日以外にできます。 ・透析の後は入浴できません。 ・透析翌日の朝、止血テープをはがしよく洗いましょう。 ・透析中にトイレをすませてください。 ・透析中は血圧の様子で、トイレ歩行がベッド上排泄となりま。				
排泄	 安心して透析が受けられる。				
患者到達目標	・シャント首を毎朝確認しましょう。 ・透析についての説明をします。 * シャント管理について * 透析による症状について * シャントの止血について * 必要物品について				
指導・説明	 ・状態にあわせてパンフレットに添って説明します。 * 自宅での体重、血圧測定について * 透析手帳について * ロッカー、更衣室、ベッドの使用法について				
備考	※テープかぶり、かゆみ、発赤等がありましたら看護師に申し出てください。				

静岡赤十字病院

図 2 血液透析導入クリティカルパス (患者用)